

人類働態学会 20期 第3回理事会

日時：2009年2月19日（木） 18:00～20:00

場所：筑波大学教育開発国際協力研究センター東京分室 E157

出席：片岡洵子 岸田孝弥 酒井一博 竹内由利子 城憲秀 中田英雄 橋本修左 堀野定雄
真家 and 生 松田文子 松村秋芳 森みどり

配布資料： 資料1 20期第2回理事会次第

資料4 会費納入状況

資料2 JHE J-STAGE 登録

資料5 「働態研究の方法」進捗状況

資料3

会員動向（下記を含め214名）

<退会>

小林武夫 田中俊之 橋本正浩

<入会>

坂元陽子（2009年4月1日付での入会希望）

●報告

・各担当よりの報告

JHE

・2009年6月に、39（1）を発行予定

東日本・共生シンポ

・2009年の共生シンポジウムは11月21日（土）を予定。夕方から懇親会。

・2009年の東日本地方会は11月22日（日）を予定。基本的には一般演題のみ。優秀発表賞、発表奨励賞は継続の方針。

研究推進

・これまで共生シンポジウムを5回開催したことについて、一旦、内容を総括する。その方法として、
1. 「働態研究の方法」にジョイントする、2. 出版を検討する、3. 科研費（研究成果公表）に応募する、などが考えられる。また、テーマを積み重ねて、IEAでの企画シンポも踏まえ、次の展開を考えたい。次回の共生シンポのテーマ候補はいくつか挙がっている（介護福祉、子供を取り巻く環境、温暖化、生活必需品など）。

国際交流

・IEA会長発信のニュースレターをHPで公開して欲しい。

働態研究の方法

・現在、76編集まっており、月1回ペースで会合を持ちながら編集中である。

・別冊会報としての位置づけで出版を検討。WEB化も行う。

（理事会意見として、一般書として発刊を希望する声が多数あり。持ち帰って、ワーキンググループで、再検討する）

●議事

1. 44回大会、夏季研究会

・封書で、第一報を来週に発送する計画である。

- ・大会長講演の実施については、演題の集まり具合をみて検討する
- ・夏期研究会では、ダンス等の演技会も入れたい。
- ・理想通りにいかない点もあるが、引き続き支援を求める。

2. 40周年記念事業

- ・IEA 北京大会での様子次第だが、海外から人を招いてシンポを行うことを検討中。いままでの共生シンポのまとめについても、研究推進担当と協力していきたい。
- ・マクロ的・ミクロ的視点の両方が同居するような働態学会ならではのロードマップがあってもよい。
- ・欧米よりもアジアを重視して考えたい。
- ・企業人を巻き込んでいきたい。

3. Web管理、編集

- ・更新されていない情報について、引き続きフォローしていく。
- ・広報担当幹事として山田有佳倫理事を推薦し、理事会として承認した。

4. 財務

- ・前回理事会で、分担し、働きかけた効果が出てきている。2カ月で、25万円強の振り込みがあった。
- ・退会の意思表示がなくても、会費の請求書は継続的に参加してもらうように、催促する予定。
- ・長期滞納者に対しては、できるだけ直近の年度について会費を払ってもらうように促す。
- ・ゆうちょ銀行への口座開設が可能になったことにより、銀行振り込みで会費納入が可能になった。

5. 国際交流

- ・IEA2009（北京）にて、共生をテーマとしたシンポジウムを人類働態学会の名前でエントリーし、受理された。
- ・IEA2009（北京）への渡航サポートを企画し、会員に連絡した（現状では、申込者0人）。
- ・旅行会社の「トラベルパートナー」から、渡航サポート（航空券の手配、宿泊の手配、プログラムの確認、手数料無料など）の提案を受けた。直接、電話会談を行い、きめ細かいサービスや中国政府とのコネクションの強さを確認した。
- ・IEA2009（北京）の会場が当初の場所から変更になり、交通の便があまりよくないことが分かった。
- ・会員が自由に利用できるように、上記「トラベルパートナー」のサービスを学会 HP 上で紹介することとした。

次回の理事会は、2009年4月25日（土）の10時～12時を予定。

以上